

合理化事業計画の概要

1 合理化事業計画の法的根拠

国において昭和50年5月「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」（合特法）を制定した。

第1条の法律の趣旨は、下水道の整備等により一般廃棄物処理事業者が受ける著しい影響を緩和し、経営の近代化及び規模の適正化を図るための計画を策定し、その実施を推進することにより、その業務の安定を保持するとともに、廃棄物の適正な処理に資することを目的としている。

第3条で「市町村は、当該市町村の区域に係る下水道の整備その他政令で定める事由によりその経営の基礎となる諸条件に著しい変化を生ずることとなる一般廃棄物処理業等について、その受ける著しい影響を緩和し、併せて経営の近代化及び規模の適正化を図るための事業（以下「合理化事業」という。）に関する計画（以下「合理化事業計画」という。）を定め、都道府県知事の承認を受けることができる。」となっている。

し尿の収集処理は、下水道の終末処理場によるし尿処理への転換が完了する直前まで、全体の規模を縮小しつつも安定的に継続して行う必要がある。

市町村の取組として、一般廃棄物処理業等の安定を保持するため必要かつ十分な事業であって、実施が可能な事業の転換や資金上の措置等を合理化事業とするよう定められている。

国の合理化事業計画策定要領の中では、実施方法の具体例として、ごみ処理（再生を含む）、下水道汚泥運搬処分、下水道管路施設の維持管理、下水道処理施設の維持管理、農業集落排水施設の維持管理、道路清掃管理、その他市町村が民間事業者に委託することができる業務及び転廃交付金等の交付が示されている。

2 長野市の合理化事業計画の実施状況

（1）経過

本市では、昭和34年度から供用が開始された単独公共下水道及び平成2年度から供用が開始された千曲川流域関連公共下水道等の整備が進み、し尿収集量は平成8年度をピークに減少の一途を辿っている。

このことにより、大きな影響を受けている旧長野地区の業務を行っているし尿収集委託事業者(長野市生活環境協同組合)と合理化事業について検討をしてきた。

平成12年度にし尿収集委託事業者に金銭的な資金援助を行う内容の合理化事業計画を策定し、次数を重ね実施してきている。

転換業務(市の委託業務)についても、し尿収集委託事業者及び市内各課と検討を行ったが、代わりとなる業務は見出せなかった。

(2) 実施内容

合理化事業計画は、収集範囲が広く、影響の大きな旧長野地区で委託で収集を行っている事業者を対象とし、平成12年度から3年毎に見直しながら実施している。

現在、平成21～23年度までの第4次合理化事業計画(し尿収集車両減車1台当たり、2,175万円、減車台数10台)を実施している。

・し尿収集を委託で行っている地区

(若穂・豊野・戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条を除く地区)

	収集量 計画初年度(kl)	事業所数	収集車両 台数	減車 台数	交付金額 1台当たり(千円)	交付金額合計 (千円)
第一次実績 (H12～H14)	142,449	15 11	72 58	14	26,520	371,280
第二次実績 (H15～H17)	111,535	11 8	58 40	18	26,520	477,360
第三次実績 (H18～H20)	83,277	8 4	40 31	9	26,520	238,680
第四次計画 (H21～H23)	51,605	4 4	31 21	10	21,750	217,500
計	第四次では第一 次の36%に減少	15 4	72 21	51		1,304,820

1台当たり交付金額は、国の公共用地の取得に伴う損失補償基準により積算

3 各都市の支援状況

全国の市町村における支援措置は、それぞれの市町村の地域性、歴史性、財政状況等に基づいて、金銭措置を講じたもの、代替業務を提供したもの等、多様な支援措置が講じられてきた。

し尿等の処理業は、地域によって委託制・許可制など、かなり異なる形態で行われてきたことや下水道の普及状況が全国一律でないことから、それぞれの状況に応じた支援策が実施されてきた。

各都市の転廃交付金額の状況（1台当たりの交付額）

都市名	金額(千円)	都市名	金額(千円)	都市名	金額(千円)
小郡	69,383	あきる野	32,520	安曇野	27,000
近江八幡	52,000	松本	32,500	盛岡	25,600
横浜	50,000	大分	32,170	旭川	25,200
甲府	40,000	熊本	31,000	長野	21,750
所沢	39,000	京都	30,450	姫路	20,000
日立	37,537	狭山	30,000	平塚	20,000
宇都宮	37,340	福岡	29,500	上田	20,000
筑紫野	35,000	北九州	29,000		
千葉	34,256	千曲	28,150		
久留米	34,000	下関	27,040	平均	32,978